

株主メモ Shareholder Information

| | |
|-----------------------|---|
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年6月開催 |
| 配当金支払株主確定日 | 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 |
| 公告の方法 | 電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告が行えない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL http://www.meiko-elec.com/ir/pa.shtml |
| 上場証券取引所 | 大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード) |
| 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 | 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 |
| 株主名簿管理人事務取扱場所 | 東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部 |
| (郵便物送付先) | 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部 |
| (電話照会先) | ☎0120-176-417 |
| (インターネットホームページURL) | http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html |

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。
証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の住友信託銀行株式会社の電話照会先をお願いいたします。



IR情報につきましては、当社ホームページにも掲載されておりますので、ご覧ください。

<http://www.meiko-elec.com/>



CSR活動2011年版コンテンツを更新しました。ご覧ください。

<http://www.meiko-elec.com/csr/index.html>

 株式会社 メイコー

本社 〒252-1104 神奈川県綾瀬市大上5-14-15
TEL : 0467 (76) 6001 (大代表)

ホームページ <http://www.meiko-elec.com/>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。



37TH (第2四半期)

MEIKO REPORT

証券コード：6787

第37期 平成23年4月1日から平成23年9月30日まで

世界経済の変化を見据え開発・生産・営業体制の強化



株主の皆様におかれましては、平素より当社の事業につきまして格別のご支援とご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第37期（平成24年3月期）第2四半期 MEIKO REPORTをお届けするにあたり、インタビューにお答えする形で、当第2四半期累計期間の事業の状況と今後の経営戦略についてご説明いたします。

代表取締役社長 **名屋 佑一郎**

メイコグループの企業理念

顧客に最高の価値とサービスを提供し社会に貢献する

お客様の満足度を高め、顧客に信頼される企業を目指します。

最高への挑戦

「最高の技術」「最高の品質」「最高の経営システム」を目指し、挑戦し続けます。

企業価値を高め社員と社会に幸福を

企業価値を高めることにより、株主、社員、取引先に成果を還元し、豊かな社会の創造に貢献します。

当第2四半期累計期間の経営環境と事業成績についてお聞かせください

A 生産力は維持するも震災による受注の落ち込みが業績に影響

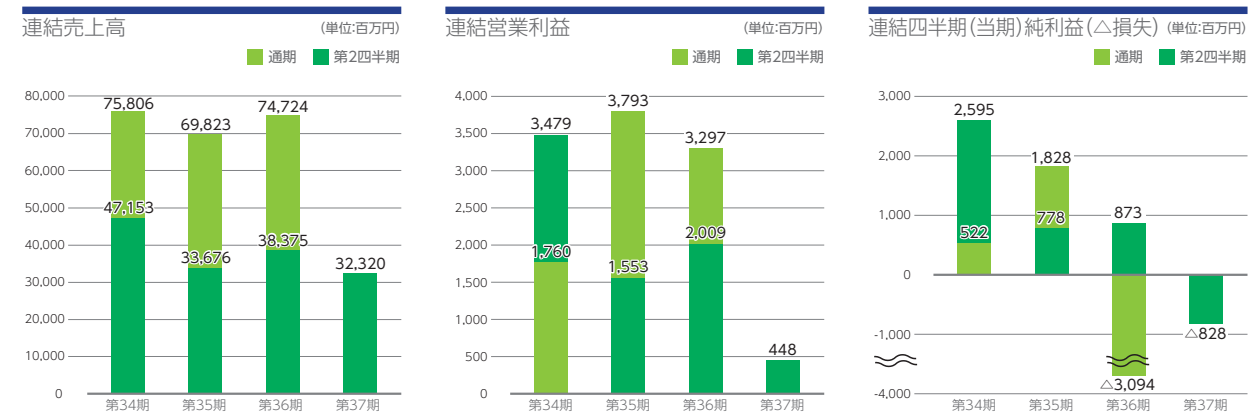
当社グループをとりまく世界経済環境は、前半には新興国の需要増による堅調な成長を維持したものの、後半にはインフレの進行や金融引締めなどにより成長率が鈍化したほか、欧州の財政問題や長期化する円高問題など、先行きが不透明な状況が続いております。

一方国内では、平成23年3月11日に発生した東日本大震災および原子力発電所事故の影響により、生産や設備投資が急激に落ち込み個人消費が低迷しましたが、官民挙げた復興の努力により徐々に回復に向かいました。当社グループの主要な取引先である自動車業

界、エレクトロニクス業界では、当初は生産設備の損壊やサプライチェーンの混乱により減産を余儀なくされたものの、後半には回復の局面に入りました。しかしながら、夏の電力不足や円高圧力などにより生産体制の見直しが求められ、不安定な状況が続きました。

このような中、当社グループでは海外企業向け販売の拡大や、成長が期待される製品に対する投資を積極的に進めてまいりました。また、被災工場の生産品目を国内外の工場で代替生産することで供給体制を維持し、7月には福島工場の操業再開も果たしました。しかしながら、顧客企業の減産による受注の落ち込みや円高などにより、売上高・利益とも厳しい状況となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は323億2千万円（前年同期比15.8%減）、営



業利益は4億4千8百万円（前年同期比77.7%減）、経常損失は10億2千1百万円（前年同期は経常利益12億8千9百万円）、四半期純損失は8億2千8百万円（前年同期は四半期純利益8億7千3百万円）となりました。

| 通期の見通し | |
|--------------------------|--------------------------|
| ▶ 連結売上高 630 億円 | ▶ 連結経常損失 11 億円 |
| ▶ 連結営業利益 7 億円 | ▶ 連結当期純損失 8 億円 |

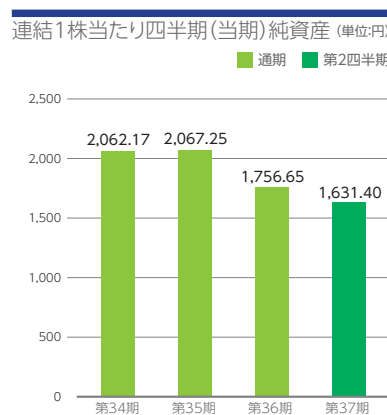
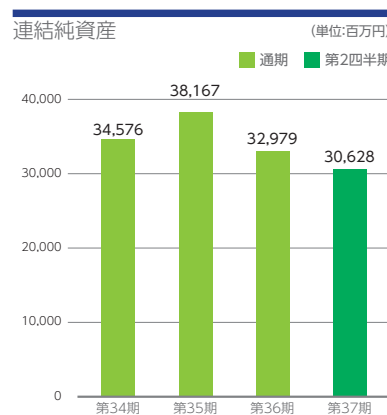
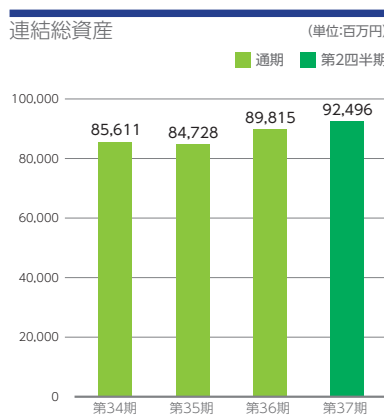
方、欧州の金融問題、米国の高い失業率、中国における金融引き締めや円高の一層の進展などにより世界的な景気の後退が予想されるほか、タイの洪水の影響で自動車関連を中心に部品の供給不足の長期化が懸念されるなど、世界の経済環境は未だ不透明な状態です。

これらのことを踏まえ、通期の連結業績予想については、売上高630億円（前期比15.7%減）、営業利益7億円（同78.8%減）、経常損失11億円（前期は経常利益21億2千7百万円）、当期純損失8億円（前期は当期純損失30億9千4百万円）といたしました。

Q 通期の業績見通しをお聞かせください

A 成長市場に注力する一方で世界経済環境はリスク要因

現在、スマートフォンをはじめとする新規商品や、環境・エネルギー関連の商品が注目されており、これらの市場は今後も成長を続けていくと思われま



Q 中長期的な戦略についてお聞かせください

A 技術開発力、生産力、営業力を強化しグローバル戦略を推進

当社グループは、世界規模で拡大を続けている新規市場に向けて今後より一層グローバル化を加速させていく計画です。そのために、技術開発力、生産力、営業力の増強を図ってまいります。

具体的には、技術開発面では「メイコー研究開発センター」を中心に、新材料や新プロセスによる基板開発、信頼性や品質、コスト、生産技術などの優位性を目指すことに加えて、新商品開発や将来に向けた基礎研究にも注力してまいります。また、生産面においては、このたび武漢第二工場が一時停止したことご心配をおかけしましたが、ここにおける安定生産の早期化と、操業を開始したベトナム工場新ラインの早期立ち上げにより、市場への対応力を強化し安定した収益の確保を目指してまいります。また販売面では、スマートフォン、自動車、環境・エネルギー関連の製品を取り扱う海外メーカーとの取引拡大を図り、海外顧客比率の増大を進めてまいります。

Q 最後に、株主の皆様へメッセージをお願いします

A 内部留保の充実と株主の皆様への利益還元に向けて努力

株主の皆様への利益還元につきましては、当社の市場における競争力の維持・強化のための内部留保の充実とのバランスを熟慮したうえで、業績に応じた配当を実施させていただくことを基本方針としております。

中間配当金につきましては、第2四半期累計期間の業績および今後の見通しなどを総合的に勘案した結果、誠に遺憾ながら実施を見送らせていただくことといたしました。株主の皆様には、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

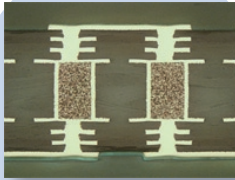
経営環境が厳しさを増す中、株主の皆様をはじめすべてのステークホルダーのご支援、ご期待に応えるべく、業績および企業価値の向上に努めてまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

身近な
メイコー
Vol.6

メイコーの技術は こんなところでも活躍しています

車載ビルドアップ基板

車載用の電子回路基板には「品質・信頼性」が特に厳しく要求されます。そのため、従来は高い実績のある2層~6層のスルーホール基板の使用が主流でしたが、エンジン制御システムやカーナビゲーションシステムなどの多機能化に伴い、より高密度な部品実装を可能とするビルドアップ基板の採用が進んでいます。一方で、ハイブリッドカーや電気自動車などにおいて、より高い放熱性や大電流への対応が求められています。メイコーでは、このような高信頼性、高密度、高放熱性、大電流対応を両立するための研究開発をおこない、エレクトロニクスの進化に貢献しています。



車載ビルドアップ基板断面図



ビルドアップ基板とは

レーザー加工やフィルドめっき技術など最先端の技術を駆使し、高密度化・小型化に対応した基板です。従来は、主に携帯電話やデジタルカメラなど小型のデジタル機器に使用されていました。

TOPICS トピックス

福島工場再開のお知らせ

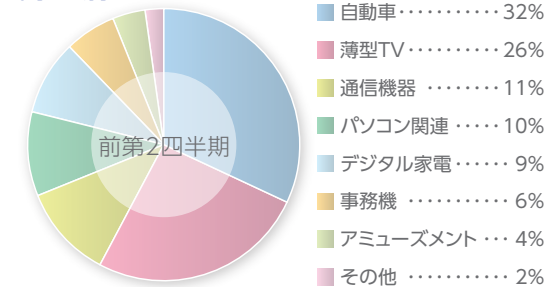
福島県広野町にある当社福島工場は、2011年3月11日に発生した東日本大震災の影響により操業を一時停止していましたが、7月より操業を再開いたしました。福島工場は事務機、アミューズメント、産業機器などに向けた中量ロットを得意とする工場です。両面・多層スルーホール基板を短納期で量産しています。

今後も、当社福島工場の再開が少しでも被災地の力になればとの願いから、従業員一人ひとりが気持ちを新たに、生産活動に取り組んでまいります。

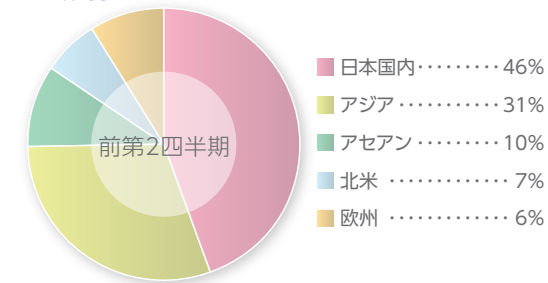


電子回路基板売上高構成比率

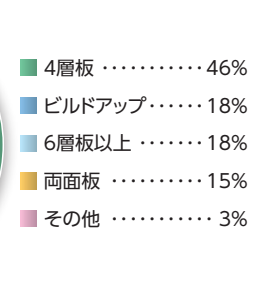
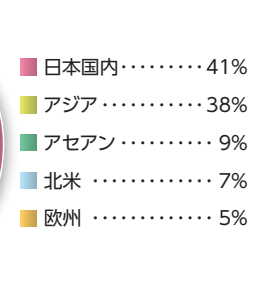
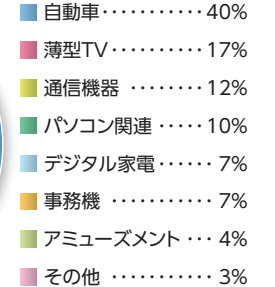
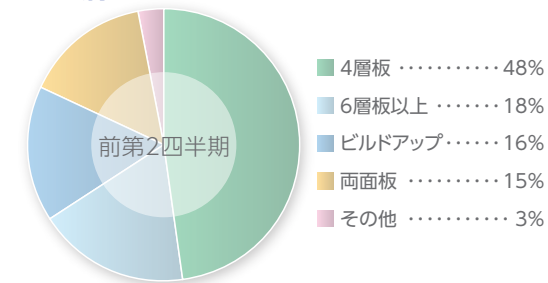
商品別



地域別



品目別



連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

| 科目 | 当第2四半期連結 会計期間末 (平成23年9月30日現在) | 前連結会計年度末 (平成23年3月31日現在) | 科目 | 当第2四半期連結 会計期間末 (平成23年9月30日現在) | 前連結会計年度末 (平成23年3月31日現在) |
|-----------------|-------------------------------------|----------------------------|--------------------|-------------------------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | | 負債の部 | | |
| 流動資産 | 33,918 | 31,882 | 流動負債 | 32,738 | 29,618 |
| 現金及び預金 | 4,109 | 2,727 | 固定負債 | 29,130 | 27,217 |
| 受取手形及び売掛金 | 14,906 | 14,634 | 負債合計 | 61,868 | 56,836 |
| 商品及び製品 | 4,062 | 4,379 | 純資産の部 | | |
| 仕掛品 | 2,793 | 2,363 | 株主資本 | 36,146 | 36,975 |
| 原材料及び貯蔵品 | 3,928 | 4,571 | 資本金 | 10,545 | 10,545 |
| その他 | 4,129 | 3,219 | 資本剰余金 | 12,467 | 12,467 |
| 貸倒引当金 | △ 11 | △ 12 | 利益剰余金 | 13,530 | 14,358 |
| 固定資産 | 58,578 | 57,932 | 自己株式 | △ 396 | △ 396 |
| 有形固定資産 | 53,243 | 52,334 | その他の包括利益累計額 | △ 5,518 | △ 3,995 |
| 建物及び構築物(純額) | 18,371 | 16,303 | その他有価証券評価差額金 | △ 227 | △ 105 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 24,331 | 22,459 | 繰延ヘッジ損益 | △ 327 | △ 204 |
| 土地 | 1,944 | 1,944 | 為替換算調整勘定 | △ 4,962 | △ 3,686 |
| 建設仮勘定 | 7,984 | 10,969 | 純資産合計 | 30,628 | 32,979 |
| その他(純額) | 611 | 657 | 負債純資産合計 | 92,496 | 89,815 |
| 無形固定資産 | 613 | 608 | | | |
| 投資その他の資産 | 4,720 | 4,989 | | | |
| 資産合計 | 92,496 | 89,815 | | | |

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

| 科目 | 当第2四半期連結累計期間 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで) | 前第2四半期連結累計期間 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで) | 前連結会計年度 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで) |
|---|---|---|--|
| 売上高 | 32,320 | 38,375 | 74,724 |
| 売上原価 | 28,194 | 32,267 | 63,219 |
| 売上総利益 | 4,125 | 6,107 | 11,505 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,677 | 4,098 | 8,207 |
| 営業利益 | 448 | 2,009 | 3,297 |
| 営業外収益 | 142 | 172 | 285 |
| 営業外費用 | 1,612 | 892 | 1,455 |
| 経常利益又は 経常損失(△) | △ 1,021 | 1,289 | 2,127 |
| 特別利益 | 14 | 4 | 9 |
| 特別損失 | 137 | 85 | 5,546 |
| 税金等調整前四半期 純利益又は 税金等調整前四半期 (当期)純損失(△) | △ 1,144 | 1,208 | △ 3,408 |
| 法人税等 | 94 | 335 | △ 313 |
| 法人税等還付税額 | △ 409 | - | - |
| 少数株主損益調整前四 半期純利益又は 少数株主損益調整前四 半期(当期)純損失(△) | △ 828 | 873 | △ 3,094 |
| 少数株主利益 | - | 0 | 0 |
| 四半期純利益又は 四半期(当期)純損失(△) | △ 828 | 873 | △ 3,094 |

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

| 科目 | 当第2四半期連結累計期間 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで) | 前第2四半期連結累計期間 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで) | 前連結会計年度 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで) |
|--------------------------|---|---|--|
| 営業活動による キャッシュ・フロー | 213 | 66 | 7,916 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー | △ 7,275 | △ 9,963 | △ 17,911 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー | 8,538 | 10,046 | 8,677 |
| 現金及び現金同等物に 係る換算差額 | △ 95 | △ 156 | △ 182 |
| 現金及び現金同等物の 増減額(△は減少) | 1,381 | △ 6 | △ 1,500 |
| 現金及び現金同等物の 期首残高 | 2,508 | 4,008 | 4,008 |
| 現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 | 3,890 | 4,002 | 2,508 |

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

メイコーのCSR

私たちメイコーは、地域社会との密接な関係を築くために、本社をはじめとするグループ各社での社会貢献活動を積極的に推進しています。今後も、本社およびすべての事業拠点で地域社会との共生を図り、ともに発展していくよう活動に取り組んでまいります。

社会貢献活動の取り組み

2011
活動紹介

1

四川大地震による被災小学校の再建

当社では、2008年5月12日に中国四川省で発生した四川大地震（マグニチュード8.0）の救援活動のひとつとして、児童が早期に学校へ戻るよう小学校再建の協力支援を地震発生直後から続けてきましたが、このたび小学校の復旧工事が完了し、2011年9月16日に竣工式がおこなわれました。再建した新校舎にはパソコン室、実験室、美術室や図書館などが完備され、現在約200名の生徒が勉強に励んでいます。

今後も、良き企業市民として各地域に密着した社会貢献活動を推進することで、社会の一員としての責任を継続的に果たしてまいります。



2011年9月16日に竣工式を迎えた新校舎

2011
活動紹介

2

地元サッカー場を交流の場に！

地域貢献の一環として、ベトナム工場所在地であるハノイ市フンサー村にサッカー場を寄付いたしました。2011年4月11日に開場式がとりおこなわれ、村代表チームとメイコー代表チームとでサッカー大会をおこないました。

今後も、地元行事をふくめた地域交流の場として活躍する予定です。

～ベトナムは世界有数のサッカー愛好国～

ベトナムではサッカーは国技ともいえるスポーツで、「サッカーに始まり、サッカーに終わる」といわれるほど愛されています。2008年には東南アジア選手権で優勝し、全国でパレードがおこなわれました。



サッカー場開場式の様子

会社概要 (平成23年9月30日現在)

| | |
|--------|--|
| 商号 | 株式会社メイコー |
| 設立 | 1975年11月25日 |
| 資本金 | 105億4,563万円 |
| 従業員数 | 11,562名（連結） （国内 834名） （海外10,728名） |
| 主な事業内容 | 〈電子回路基板〉両面・多層貫通基板 高密度ビルドアップ基板 放熱基板、大電流基板 パターン設計、メタルマスク、 治工具 〈電子機器〉基板実装、基板検査機器 映像関連機器 |
| 主な事業所 | 〈本社〉神奈川県綾瀬市 〈営業所〉本社営業部、名古屋、大阪、 大宮、香港、天津、広州、上海、 米国サンノゼ、ドイツミュンヘン 〈工場〉神奈川、福島、山形、宮城、 中国広州、中国武漢、ベトナム 〈開発〉メイコー研究開発センター |

役員 (平成23年9月30日現在)

| | |
|-------------|--------|
| 代表取締役社長執行役員 | 名屋 佑一郎 |
| 取締役専務執行役員 | 名屋 精一 |
| 取締役専務執行役員 | 平山 隆英 |
| 取締役専務執行役員 | 篠崎 政邦 |
| 取締役常務執行役員 | 名屋 晴行 |
| 取締役常務執行役員 | 鈴木 哲郎 |
| 取締役 | 佐藤 国彦 |
| 常勤監査役 | 伊豫本 齊 |
| 監査役 | 菅原 邦宏 |
| 監査役 | 後藤 豊 |

株式の状況 (平成23年9月30日現在)

| | |
|----------|----------------------------------|
| 発行可能株式総数 | 63,200,000株 |
| 発行済株式の総数 | 18,774,150株 （自己株式629,170株を除く） |
| 株主数 | 6,402名 |

大株主 (上位10位)

| 株主名 | 持株数 (千株) | 持株比率 (%) |
|---|-------------|-------------|
| 名屋 佑一郎 | 4,695 | 25.0 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 934 | 5.0 |
| 名幸興産株式会社 | 608 | 3.2 |
| THE CHASE MANHATTAN BANK, N.A. LONDON SECS LENDING OMNIBUS ACCOUNT | 580 | 3.1 |
| 有限会社ユーホー | 521 | 2.8 |
| 名屋 晴行 | 487 | 2.6 |
| 名屋 精一 | 438 | 2.3 |
| 株式会社三井住友銀行 | 377 | 2.0 |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 375 | 2.0 |
| 日本生命保険相互会社 | 338 | 1.8 |

※当社は、自己株式629,170株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況 (平成23年9月30日現在)

